

発行 者		2・東書	17・教出	46・帝国	81・山川	116・日文
観 点						
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標，内容等	○ 歴史的分野の目標が達成できるよう取り上げられている学習活動					
	・アイヌの人々と琉球の人々への対応の共通点を考察したり，単元のまとめでは「近代化で日本はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・戦後の日本復興を象徴する出来事を考察したり，時代の特色を理解したりする活動	・アイヌ民族や琉球の人々への影響を考察したり，単元のまとめでは「近代の日本では政治・社会・文化はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・戦後の平和な世界を築くための取組を考察したり，時代の特色を理解したりする活動	・明治政府の国づくりの進め方を考察したり，単元のまとめでは「近代国家の建設を目指し社会はどう変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・高度経済成長，東京オリンピックの意義を考察したり，時代の特色を理解したりする活動	・明治時代の国際関係の変化を考察したり，単元のまとめでは「明治政府はどのような近代国家をつくろうとしていたのだろう」という主題を設けて時代の特色を理解する活動 ・日本国憲法の制定など日本の民主化の進展を考察したり，時代の特色を理解する活動	・江戸時代の幕藩体制とのちがいに着目して，明治政府の政策の目的を考察したり，単元のまとめでは「近代化の特色は，どのような点にあらわれているか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・世界に与えた影響を考察したり，時代の特色を理解したりする活動	
		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応				
		・近世の社会の様子学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，屏風絵等の複数の資料を比較し，時代の変化について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動	・中世の日本と世界の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，絵巻物を中心に複数の資料を比較し，人々の生活の様子について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動	・江戸時代の町人文化の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，イラスト等の複数の資料を基に江戸の人々の暮らしについて話し合い，考えを広げたり深めたりする活動	・日露戦争と東アジアの学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，風刺画等，複数資料を基に戦争が与えた影響について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動	・承久の乱の学習において，学習課題を設定し，見通しをもたせるとともに，地図等の複数の資料を基に，古代から中世への時代の変化について話し合い，考えを広げたり深めたりする活動
内容の構成・排列，分量等	○ 系統的・発展的に学習できるような工夫					
	・歴史の学び方について学習した後に，時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習	・歴史の学び方について学習した後に，時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習	・歴史の学び方について学習した後に，時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習	・歴史の学び方について学習した後に，時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習	・歴史の学び方について学習した後に，時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習	・歴史の学び方について学習した後に，時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習
	○ 内容の分量					
		・総ページ数 300 ページ（約 3 %減）	・総ページ数 317 ページ（約 1 %減）	・総ページ数 334 ページ（約 7 %増）	・総ページ数 296 ページ（前回とほぼ同様）	・総ページ数 324 ページ（約 4 %減）
		○ 学習意欲を高める工夫				

使用上の配慮等	- 江戸時代の最上徳内，近藤重蔵，間宮林蔵らの北方探検の地図を掲載し，その行程を紹介 - アイヌ文化と儀式や生活の様子などの資料を掲載し，アイヌ文化の成立と展開，文化継承の動きの説明	- 江戸時代のペリー艦隊の函館来航記念碑の資料を掲載し，函館寄港のエピソードを紹介 - アイヌの人たちの文化などについて，神謡集の資料を掲載し，アイヌ文化を伝えてきた人々の努力について説明	- 屯田兵による開拓や開拓使による札幌の建設，官営工場の設置などを紹介 「アイヌ民族の暮らし」として，儀式や生活の様子，言葉等の資料を掲載し，アイヌ民族の生活の様子や交易について説明	- 明治時代の札幌の地図等の資料を掲載し，開拓の歴史等から札幌について考える課題の設定 - アイヌの人たちの歴史と文化について，アイヌ民族の首長などを描いた絵を掲載し，特徴を説明	- 北方領土に関する条約や地図などの資料を掲載し，第二次世界大戦後の日本の取組の説明 - アイヌ文化について，儀式や神話，国立アイヌ民族博物館などの資料を掲載し，文化の伝承についての説明
	○ 主体的に学習に取り組む工夫				
	「チェック＆トライ」で，一単位時間の学習の最後に振り返る活動や，「みんなでチャレンジ」で他者の意見を取り入れ，自分の意見を調整する活動を掲載	「確認」で，一単位時間の学習内容を振り返って整理する活動や，「表現」で，学習内容を図に表したり，自分の言葉で説明したりする活動を掲載	「説明しよう」で，説明する活動を通して学習を振り返る活動や「アクティブ歴史」で自分の意見をまとめ，他者と意見を交換する活動を掲載	「ステップアップ」で，一単位時間の終わりに新たな課題を追究する活動や，「歴史を考えよう」で，学んだことを基に考察する活動を掲載	「確認」で，一単位時間の学習内容の理解を確認する活動や，「学び合い」で，話し合いなどの対話的な活動を掲載
指導上の配慮等	○ 使用上の便宜				
	教科書の使い方について説明するページの設定や，ユニバーサルデザインフォントの使用	教科書の使い方について説明するページの設定や，ユニバーサルデザインフォントの使用	教科書を活用した学び方について説明するページの設定や，ユニバーサルデザインフォントの使用	教科書の使い方について説明するページの設定や，カラーユニバーサルデザインの使用	教科書の構成と使い方について説明するページの設定や，ユニバーサルデザインフォントの使用
	○ 地域素材				
	- 中世の学習におけるアイヌ民族の交易活動，旭川にゆかりのある知里幸恵や「アイヌ神謡集」などが扱われている - 北方領土について，明治時代の領土画定をめぐる問題の背景や日本人が生活していた頃の様子が扱われている	- 室町時代におけるオホーツク文化や，明治時代における知里幸恵とアイヌ神謡集などが扱われている - 北方領土について，明治時代の学習の本文や特設ページ「隣国と向き合うために」において日本の領土をめぐる課題が扱われている	- アイヌ民族の歴史，知里幸恵とアイヌ神謡集などが扱われている - 北方領土について，特設ページ「歴史を探ろう」において，日本の領土画定と領有をめぐる諸課題が扱われている	- 明治時代の学習における札幌の開拓についてや，アイヌ神謡集と知里幸恵や，アイヌの人々の歴史と文化などが扱われている - 北方領土については，明治時代の学習における本文と特設ページ日本の領土の変遷においてなどが扱われている	- 中世の学習における和人とアイヌ民族の交易や江戸時代の学習におけるアイヌとの交易の様子，知里幸恵やアイヌ神謡集などが扱われている - 北方領土については，特設ページ「歴史を掘り下げる」において，ロシアとの歴史が扱われている

	○ ICTの活用 ・二次元コードから、関連資料や動画などのデジタルコンテンツが使用できるようになっており、技能の向上を図るための参考動画を視聴できるほか、歴史的資料を拡大して閲覧できるよう工夫がなされている ・二次元コードから、縄文遺跡群世界遺産事務局などの各種リンクやクイズなどにアクセスして学習に使用することができるよう工夫がなされている ・二次元コードから、学習内容に関連する動画や「学習を振り返ろう」の解答などが閲覧でき、学習内容を確実に理解することができるよう工夫がなされている ・二次元コードから、各種コンテンツにアクセスして、教科書掲載写真の拡大や動画の視聴など、学習に使用することができるよう工夫がなされている ・二次元コードから、動画視聴により単元の見通しをもったり、ワークシートにより単元の振り返りを行ったりできるほか、小テストにより知識の定着を図ることができるよう工夫がなされている				
	○ 小中連携による指導 ・各章の導入の活動に、小学校で学習した人物や文化財の資料、用語を掲載してマーク等で示し、小学校の学習内容を中心に構成した年表を記載する工夫がなされている ・巻頭に「歴史にアプローチ」などを設定し、小学校の学習を楽しみながら振り返るとともに、中学校での学習で働かせる「歴史の見方・考え方」を学ぶことができる工夫がなされている ・各章の冒頭の「章扉」に「小学校で学んだ人物と主な出来事」の年表が設置され、小学校で学んだ人物と出来事を確認する工夫がなされている ・小学校で学習した「歴史を大きく変えた人物」について調査し、まとめる活動を設定する工夫がなされている ・「第1編」等で小学校の学習を振り返る活動を設定したり、ページ脚注にリンクマークを示し、小学校で学んだ人物を確認できるようにする工夫がなされている				
本市生徒の学習の状況等	○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力の育成 ・小集団での参加型学習「みんなでチャレンジ」を設定し、多様な意見に触れながら、自分の考えを調整したり、まとめたりできるよう工夫がなされている ・特設ページ「歴史を探ろう」で、本時に登場しない人物の視点や、後の時代への影響やつながり等の視点から生徒が捉え直すことができるよう工夫がなされている ・各章末の特設ページにおいて、戦後の日本と他国との関係など各時代の特色やその背景について考察を深めるパフォーマンス課題を設定する工夫がなされている ・時代を通した視点やグローバルな視点でみたテーマ、ポイントを絞ってクローズアップしたテーマを取り上げるなどの工夫がなされている ・章末のまとめと振り返りにおいて、習得した知識を関連させて、時代の特色を捉えることができる欄を設けるなどの工夫がなされている				
	○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力の育成 ・「スキルアップ」のコーナーを設定し、資料を集める、読み取る、まとめる等の技能を定着できるようにするなどの工夫がなされている ・単元を通して追究する問いを生み出す視点を提示し、追究に必要な資料を掲載するとともに、その活用の手がかりについても提示する工夫がなされている ・資料を比較して時代の特色を捉える「タイムトラベル」や、都市のイラストや世界地図から日本の歴史とのつながりを考える「世界とのつながりを考えよう」などを設定する工夫がなされている ・世界の歴史の取り扱いを充実させるとともに、日本の歴史との関連や、現在の国際情勢との関連を記載する工夫がなされている ・見方・考え方の欄を設け、学習課題の解決に向けての手がかりとなる例を示したり、系図の読み取り方などを説明する「スキルアップコーナー」を設定するなどの工夫がなされている				

			ている		いる
	○ 既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得するための配慮				
	・章末に「まとめの活動」のコーナーや、一単位の学習内容の整理とまとめを行うよう、各見開きに「チェック」のコーナーが設定されている	・各見開きに一単位の学習内容の整理とまとめを行う「確認」のコーナー等や、章末に学習内容を振り返り、段階的に考察し、表現する「Hop!」「STEP!」「JUMP!」が設定されている。	・一単位の学習内容を見通す学習課題や知識と理解を深める問いである「確認しよう」「説明しよう」を設定するなど、見開きページを構造化した紙面構成などの配慮がなされている。	・レポートを作って発表するための解説ページを設け、まとめ方や発表の仕方の視点を示す工夫がなされている	・章末の各時代の「まとめとふり返し」では、年表と地図で振り返り、各事象の年代・場所が確認できるようにコーナーが設定するなどの工夫がなされている
その他					

観 点 \ 発行者	225・自由社	227・育鵬社	229・学び舎	236・令書	
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	○歴史的分野の目標が達成できるよう取り上げられている学習活動				
	- 日本の産業革命の進行を考察したり、単元のまとめでは「近代前半とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 - 高度成長と日本の発展に着目して、日本の産業革命の進行を考察したり、時代の特色を理解したりする活動	- 大日本帝国憲法の制定に着目して、憲法の作られ方や政治のしくみを考察したり、単元のまとめでは「近代化に向けて歩んだ日本にとってどんな時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 - 憲法が大きく変化した点を考察したり、時代の特色を理解したりする活動	- 立憲国家の成立と議会の政治の始まりに着目して、自由民権運動の広まりや変化を考察したり、単元のまとめでは「近代はどのような特色をもった時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 - 第二次世界大戦後の日本の国交の変化を考察したり、時代の特色を理解したりする活動	- 日清・日露戦争に着目して、諸国に与えた影響を考察したり、単元のまとめでは「明治維新の近代化と弊害について調べ考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 - 戦後の復興を果たすための国民の努力を考察したり、時代の特色を理解したりする活動	
	○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応				
	二つの世界大戦と日本の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、二つの世界大戦の共通点と違いについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動	第一次世界大戦後の国際情勢の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、地図資料を基に世界の植民地やアジアの民族運動について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動	中世の武士の政治への進出と展開の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、鎌倉幕府の政治の特徴や武士の願いについて話し合い、考えを広げたり深めたりする活動	明治維新の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、明治維新による近代化のさまざまな側面について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動	
内容の構成・排列、分量等	○系統的・発展的に学習できるような工夫				
	歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習	歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習	歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習	歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習	
	○内容の分量				
	総ページ数 312 ページ（前回調査なし）	総ページ数 308 ページ（約 4 %減）	総ページ数 308 ページ（前回とほぼ同様）	総ページ数 520 ページ（前回調査なし）	
○学習意欲を高める工夫					

使用上の配慮等	・蝦夷地の測量を命じられた伊能忠敬の地図と現在の日本地図を比較して紹介 ・アイヌの人々の文化や生活について、イオマンテ等の祭りや音楽、サケ、コンブ、毛皮などの交易の様子について説明	・明治時代の開拓史による北海道の開拓や、屯田兵による開拓の様子などを紹介 ・「蝦夷地との交易」で、儀式の様子を描く資料を掲載して、アイヌ民族による交易の様子や和人との関わりについて説明	・開拓使設置や北海道への移住奨励に関する資料を掲載し、北海道開拓の進展について説明 ・江戸時代にアイヌの人々が採集した昆布の行方を課題として提示し、近隣諸国との交易について説明	・欧米諸国の接近の学習で、ロシアのラクスマンによる根室への来航について説明 ・「鎖国下の対外窓口」の中で、儀式の様子を伝える資料を掲載し、アイヌの人々と和人との交易について紹介	
	○主体的に学習に取り組む工夫 ・「チャレンジ」で、単元を学習したあとに挑戦したいワンポイントの課題を掲載	・「確認と探究」で、学習内容を振り返る活動や、「TRY!」でグループで話し合ったり調べたりして取り組む活動を掲載	・「フォーカス」で、歴史の舞台に焦点を当てて学習を深める活動や、「歴史を体験する」で、学習内容に関わる体験活動を掲載	・「歴史カードを作ってみよう」で、小学校で学んだ人物について、「グループで歴史を調べよう」においてテーマを決めて調べる活動を掲載	
	○使用上の便宜 ・教科書の使い方について説明するページの設定や、レイアウトの統一に配慮	・教科書の構成について説明するページの設定や、ユニバーサルデザインフォントの使用	・教科書の使い方について説明するページの設定や、ユニバーサルデザインに配慮	・教科書の使い方について説明するページの設定や、カラー印刷の「巻末口絵」や「日本武術図鑑」の掲載	
指導上の配慮等	○地域素材 ・室町時代の学習におけるアイヌ民族の交易活動や、江戸時代の学習におけるアイヌ民族と松前藩の交易が扱われている ・北方領土について、国境の様子や北方4島に対する日本の考え方が扱われている	・中世の学習におけるアイヌの人々の交易や、江戸時代の外交政策に関する学習における蝦夷地との交易の様子等が扱われている ・北方領土について、終戦後の学習の本文や特設ページ「歴史ズームイン」などで扱われている	・江戸時代の交易に関する学習におけるアイヌの人々の暮らしの様子や、明治時代の領土確定の学習における東京で日本語を学んだアイヌの人々が扱われている ・北方領土について、日本の独立の学習において、ロシアと交渉を行っていることについて扱われている	・近世の学習においてアイヌと松前藩の交易の様子について扱われている ・北方領土について、領土画定の背景などについて扱われている	

	○ICTの活用				
	・「調べ学習のページ 日本人の名字の由来を訪ねてみた」において、調査の方法の1つにインターネットの活用を紹介する等の工夫がなされている	・目次と各章の冒頭にある二次元コードから、学習内容に関連する動画を閲覧したり、情報を収集したりすることができるよう工夫がなされている	・インターネットで「洛中洛外図屏風」を見る学習活動を設定し、国立歴史民俗博物館のデータベースへの接続の仕方を掲載するなどの工夫がなされている	・ICTの活用については、二次元コードから漫画「承久の乱」を読むことができるよう工夫がなされている	
	○小中連携による指導				
	・各章の扉に「登場人物紹介コーナー」を設け、小学校で学習した人物を中心に構成した年表が配置されている	・各章の冒頭に、その章で学習する時代に起こった出来事や活躍した人物、文化や生活などのイラストが年代順に掲載されている	・巻頭の「歴史への案内」において、小学校で学習した歴史上の人物や出来事、文化遺産を視点として、振り返る活動が設定されている	・「序 国史を学ぶにあたって」の中で、小学校で学んだ人物と文化を振り返り、歴史カードを作ってみようという課題が設定されている	
本市生徒の学習の状況等	○社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力の育成				
	・章末に「時代比較の問題」や「人物比較の問題」を設定するとともに、歴史上の人物の考え方の相違点等について話し合う「意見交換会」のコーナーが設定されている	・章末の「学習のまとめ」において、主な歴史上の出来事等を資料の読み取りを通して整理させる活動を設定するなどの工夫がなされている	・「部の学習のまとめ」において、各時代の社会の様子や文化の特色などについて前の時代との共通点等をまとめる活動や、脚注に歴史に関わる事象について複数の説があることを解説するなどの工夫がなされている	・学習の最後に読み物としてコラムを掲載し、生徒が様々な視点で歴史をとらえようとすることができる工夫がなされている	
	○複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力の育成				
	・章末の「調べ学習のページ」において、写真や絵画等の資料から読み解くことができる歴史的事象を紹介する等の工夫がなされている	・平安時代と鎌倉時代の建築や彫刻を比較するよう促すなど、一単位時間の導入資料について考えるきっかけとなる問いを吹き出しで表すなどの工夫がなされている	・巻頭の「歴史への案内」において、寺子屋と明治の学校の比較など出来事や文化を調べる際のまとめ方が例示されている	・写真や図などを厳選し、本文の記述内容と関連付けて掲載する工夫がなされている	
	○既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得するための配慮				
	・章末に各章で学習した	・各章末に「学習のまと	・章末の「章をふりかえ	・「考えよう」や「まと	

	知識の整理を行う「復習問題のページ」を設定するとともに、対話を通して時代を大観させ、まとめ図を通して構造化する「対話とまとめ図のページ」が設定されている	め」を位置付け、年表に人物や歴史上の出来事などを記入させたり、時代の特色を説明させたりするコーナーが設定され、見開きごとに一単位時間で学習した内容を振り返らせる「確認」と「探究」が設定されている	る」「部の学習のまとめ」で、各時代の主な出来事を年表等にまとめるコーナーが設定され、時代の特色について考えたことを説明する問題が設定されている	めのページ」が設定されており、深い学びに導く工夫がなされている	
その他					